

# 東京同窓会引継ぎ式 2023年度の活動報告と振り返り抜粋

2023年度当番幹事  
昭和59年卒



①

第63回

甲府中学・甲府一高東京同窓会

『集おう 語ろう つながろう！』

～同じ學舎の 仲間 たちと～』



# 2023年度当番幹事昭和59年度卒メンバーと体制

59年卒幹事長：○森川茂樹

事務局/IT/会計：○中田正久・西野恵美・小野裕子

広告部会： ○今福勝・大澤敬造・上野貴章・望月高行  
長谷川勝仁・荒牧徹哉・青柳広美・大澤潤子

記念誌部会：○田中一司・赤池裕司・望月高行・林美奈子

懇親会部会：○田中実和・長沼秀昭・跡部秀生・石川優子  
中山真由美・関口頼子・山崎奈緒美・渡邊もとみ

一紅会担当：○小野裕子・西野恵美

※○印は部会長・責任者

# 2023年度テーマ

## 集おう語るうつながろう！

～同じ学舎の仲間たちと～

背景にある思い・大事にしたいこと

再びつながり(同期や先輩後輩)をつくる  
同窓生それぞれの輝きが見える

# 今年度の主な注力点

## ◆次代につながる運営資本の確保

- ・物価の急騰で飲食原価も7800円→9300円/人となったが、参加費は10,000円に抑え、広告と協賛金協力で400万円を超える収入を目指し、単年黒字での運営を行う。
- ・準備段階でもWeb会議活用や業務の見直しによって、無理のないコスト削減を目指す。

## ◆WEB・ITツールの活用で業務を効率化

- ・案内や出欠確認は、従来からのハガキに加えWebやメールを活用、新たにスマートフォンでの入力やクラウドITツールも活用し、業務の効率化とリアルタイムでの状況把握を目指す。

## ◆世代を超えた交流の促進

- ・現在の一高の映像や歴史トピックスを活用し、90代の大先輩から20代の若い世代までスポットを当て、同じ學舎で過ごした同窓生としての一体感を醸成し、母校の良さを再認識できるイベントとする。また記念誌とも連動して同窓生の新たなつながりをつくる。
- ・名札の工夫で参加者同士の会話のきっかけを作り、世代を超えたリアルな交流を促進する。

# 懇親会部会①

## ◆参加者数と平成/令和卒人数

	参加者数	平成令和卒
2023年度	371(374)	33(35)
前年度	307	32

※( )内は予約人数

## ◆良かった点

### (1)会場等について

- ・スライドの投影及び受付・誘導などの会場運営はトラブルなく出来た。
- ・総会時会場に冷水を用意したり、お弁当の外注先を変更し、お弁当が豪華になり好評だった。

### (2)イベントについて

- ・「現在の校舎」や「強行遠足」の映像、色々な学年の方へのインタビューや「みんなで一高クイズ」などを通して、現在の一高の様子や一高の歴史を皆で共有することができた。
- ・平成・令和卒の方の紹介をしたり、名札の工夫により交流のきっかけを作ることが出来た。

### (3)集客について

- ・参加者数が、昨年より2割増加した。
- ・平成・令和卒に積極的に声掛けをし、参加者数は昨年と変わらなかったが、85%は初参加であった。

### (4)その他

- ・アンケートをスケールでの回答に変更したら、回答数が増加した。  
(2017年25名約5%、2018年10名約2%、2019年93名約21%、今年106名約33%)
- ・封筒詰め等の作業を当日に変更したことで、前日の準備は数人で間に合った。

## 懇親会部会②

### ◆反省点

- ・イベントの内容が多く、歓談の時間が少なくなりました。
- ・総会が長引き、懇親会の開始が15分遅れた(イベント内容を調整し定刻までに終了できた)。
- ・来賓の招待が4年ぶりだった為、引継ぎ情報がなく、来賓の交通手段についての対応が遅れてしまった。
- ・当日の飛び込み参加の人数が多く、お弁当の調達に苦慮した。

### ◆今後の課題

- ・平成・令和卒は殆どの学年が幹事が不在、昨年より前の参加者の名簿もなく、周知や声掛けが困難な状況である。今回を機に2022年度以降の参加者名簿を継続管理し、今後の集客に役立ててほしい。平成・令和卒の参加者からは他学年との交流が楽しかったという感想が多かったので、今後も他学年と交流できるようなイベントの工夫が、参加のモチベーションになると考えられる。
  - ・今年は殆どの世代で昨年より参加人数の回復傾向が見られたが、60歳前後の世代は殆ど回復しなかった。この世代に対し、当番幹事後も参加の継続を働きかけることが大切だと思われる。→次ページのグラフ参照
- また平成・令和卒へは、今後新たに学年幹事をお願いする、近年の卒業生であれば、学年のグループLINEなどのSNSを通して東京同窓会の存在を認識してもらうなど、周知に向けての対策が望まれる。

## 懇親会部会③

卒業年別参加人数の推移（来賓は除く）





# 懇親会部会⑤アンケートフリーコメント 1

コロナ以後、たった2年半ほどの時間であるのに遠い昔に感じ、懐かしさあふれる時間になりました。幹事の先輩方、大変お世話になりました。ありがとうございます。(H)

もう紙媒体で広告を集める時代ではないと思います。豪華な場所で高い会費を取ってやる方式も時代にそぐわないと思います。若い人が来やすい会費に設定し、カジュアルに行くべきなのではと思います。(S)

幹事の皆様お疲れ様でした。ご盛会おめでとうございます。

初めて参加させていただきました。懐かしい映像に楽しませていただきました。ありがとうございました。(S)

とても楽しかったです。幹事の方々、本当にお疲れ様でございました。

明るい雰囲気よかった。司会の方を含め本当にお疲れ様でした。(S)

年々参加者も減少している状況、アルカディアでも良いかなと、お疲れ様です！(S)

いろんな人と喋れるのは良かった。

あおぞら会が募金箱を持って席を回るのはやりすぎ。物販もしかり。会進行がもたもたしすぎ。(S)

ご苦労さま、あいさつが長すぎる。(S)

会場の冷房が効きすぎるように思いました。強行遠足のビデオは懐かしく思いよかったです。(S)

照明が暗い(S)

応援団とブラバンが欲しかった(S)

お疲れ様でした。このような形で続けていくことが大事かと思っています。また来年も開催されることを望みます。

会員数がだんだん少なくなり運営が難しくなってくるでしょうが、頑張っていてほしい。

母校のレベルアップのための提言と支援の強化は図れないか(S)

デザート・コーヒーが欲しかった

毎年開催に色々ご苦労があると思いますが、山梨を離れて生活するものとしては同窓会を楽しみにしています。

継続的取り組みを期待しています。食事は立食が好ましいです。

## 懇親会部会⑥アンケートフリーコメント2

校歌と応援歌を2曲、計3曲歌ってこそその同窓会です。来年は復活してください。(S)

前回に比較して、とても良くなっていました。(S)

幹事の皆様お疲れ様でした。楽しかったです。

役員の紹介、先生方他の紹介が非常に長い。(S)

せっかく考えられたイベントだと思いますが、懇親会が開始した直後には同期生が歓談する時間が欲しかったと思っています。

甲府中学卒だけでなく90歳以上は会費を下げてほしい。(S)

いつも素晴らしい同窓会です。(S)

お話が長い感じがしましたが他は良かったです。食事も美味でした。(S)

お話が、なごうございました。(S)

良い時間でした。

もう少し学年を超えた交流のイベントがあると良かったかもしれない。(H)

平成以降の人数を増やしたい。(H)

フリータイムの延長があれば(S)

ご苦勞様！満90歳以上無料にされたい。協賛金は協賛金納入協力者表はつからないのですか？(S)

久しぶりの懇親会がある同窓会、充分楽しませていただきました。このような機会が続くこと、楽しみにしています。

楽しかった、ありがとう！！

企画も楽しくて、久しぶりの集まりに本当に楽しませていただきました。父の同級生と会うために来年も来ます。(H)

大変ご苦勞様でした。平成令和の人たちが増えて良かったです。(S)

開催が継続されることを望みます。

若手の増加を期待しています。(H)

## 懇親会部会⑦ アンケートフリーコメント3

応援団が来なかったのが残念でした。(S)

応援団を出してほしい。コーヒーは飲みたいです。お弁当ではなくビュッフェに戻してほしいです。

5校選抜時代の後輩の中に、少数でいいから伝統継承コアチームを育ててください！(S)

コロナ禍についてのスライドがよかったです。ありがとうございました。(S)

S59当番幹事の皆さん、準備から本番までどうもありがとうございました。とても楽しい時間でした。

料理がちょうどよかったです。内容も良かったです。(S)

時間的にもイベント的にもとても良いものでした。

良い交流ができ、良かったです！

0円のため参加のハードルが低くて良かったです。( )

同窓会で横のつながりは非常に良いと思いました。今後も継続的に広くできたら良いと感じます。(H)

来年の甲府同窓会で参考にさせていただきたいところがたくさんありました。楽しかったです。(H)

目的を大切に(S)

当番学年の方々のおもてなし素晴らしい！

とても良かったです！

会場の様子はプロジェクターに出力して一体感を出した方がよかったかもしれません(S)

総会と懇親会が同じ部屋で楽でした。費用を減らせて良いと思います。(H)

通常開催が良いですね！

長期に及ぶ準備、大変お疲れ様でした。準備していただき感謝します！

幹事の皆様ご苦労様でした。ありがとうございました。

場所が新宿駅に近く助かりました。(S)

## 事務局②

### ◆反省点や課題

- ・懇親会申込用往復ハガキの使用状況が良くないと考えられるため、可能なかぎりWeb入力にて出欠入力していただくのが良い。

→次ページの往復ハガキの使用状況を参照

※WEB入力を推進に協力いただくと幸いです。

- ・懇親会申込用往復ハガキの返信ハガキに自分の卒年を間違えて記入する方がいる。事務局では間違えた卒年でWeb入力を行い、後から卒年間違いの問い合わせを受け、正しい卒年を調査しなければならないことがあった。

学年幹事から懇親会申込用往復ハガキを送付する際、あらかじめ学年幹事にて卒年を記入した上で往復ハガキを送付してもらえれば、上記のような手間が削減できる。

# 事務局③

懇親会申込用  
往復ハガキの使用状況

学年幹事に配布した  
懇親会申込用往復ハガキの枚数

使用枚数の内訳

- ・出席で事務局に返信があった枚数
- ・欠席で事務局に返信があった枚数
- ・宛名住所が不明で往復ハガキが事務局に届いた枚数
- ・物故者として返信のあった枚数

各卒年の実際の  
懇親会出席者数

懇親会申込用往復ハガキの使用枚数  
(事務局に届いた枚数)  
赤字の配布枚数に比べ、  
青字の使用枚数が少ない

卒年	実際の出席者数	配布枚数	使用枚数の内訳				ハガキ種類
			出席枚数	欠席枚数	住所不明	物故者	
1945年(昭和20年B)	3	8	5	3	2		事務局宛での往復ハガキ
1948年(昭和23・24年)	0	1	0				事務局宛での往復ハガキ
1952年(昭和27年)	6	30	21	9	10	2	事務局宛での往復ハガキ
1953年(昭和28年)	6	18	13	6	7		事務局宛での往復ハガキ
1954年(昭和29年)	1	5	0				事務局宛での往復ハガキ
1956年(昭和31年)	10	40	26	11	15		事務局宛での往復ハガキ
1957年(昭和32年)	10	50	33	7	26		事務局宛での往復ハガキ
1958年(昭和33年)	4	13	事務局宛でないため内訳不明				宛名が無地の往復ハガキ
1959年(昭和34年)	3	25	事務局宛でないため内訳不明				宛名が無地の往復ハガキ
1960年(昭和35年)	7	5	3		3		事務局宛での往復ハガキ
1961年(昭和36年)	9	20	10	1	8	1	事務局宛での往復ハガキ
1962年(昭和37年)	6	50	24	6	18		事務局宛での往復ハガキ
1963年(昭和38年)	6	140	事務局宛でないため内訳不明				宛名が無地の往復ハガキ
1964年(昭和39年)	1	15	1	1			事務局宛での往復ハガキ
1967年(昭和42年)	11	20	7	1	6		事務局宛での往復ハガキ
1969年(昭和44年)	18	1	1	1			事務局宛での往復ハガキ
1971年(昭和46年)	12	123	45	10	33	2	事務局宛での往復ハガキ
1980年(昭和55年)	4	5	0				事務局宛での往復ハガキ
1987年(昭和62年)	8	3	0				事務局宛での往復ハガキ

■ 広告実績（含む記念誌協賛金/物販協賛金）

	目標(万円)	実績(万円)	件数
収入実績	400	442.8	137
目標達成率	-	111%	-

■ 懇親会協賛金実績

	実績(万円)	人数	口数
2023年度	43.2	87	216
前年度	25.5	51	127.5

■ 参加者数と平成/令和卒人数

	参加者数	平成令和卒
2023年度	371(374)	33(35)
前年度	307	32

※( )内は予約人数

■ アンケート調査結果

会場	食事	イベント内容	会費	開催時間
4.9	4.4	4.4	3.4	3.1

会場・食事・イベント内容は、平均スコア4以上と評価が高く、会費、開催時間は、ほぼ3で妥当との評価だった。